

湖西市のこども・子育て支援に関するアンケート調査

【調査目的】

子ども・子育て支援法に基づき、幼稚園や保育園、こども園、地域子育て支援事業などの利用希望を把握し、提供体制を確保するための見込み量を算出する。

【調査対象】

未就学児のお子様をもつ保護者（市内全世帯）

※世帯に複数未就学児がいる場合には、いずれかのこども 1 名のみを対象）

【調査の内容】

■：こども家庭庁が示す指針に基づいた設問で、特定の方程式によりニーズ量を算出するための要素となる

★：こども大綱が目指す「こどもまんなか社会」の実現に向けて設定する数値目標（アウトカム）算出のための設問

【調査結果の集計方法】

国が示す算出方法の方程式に基づきつつ、実態を加味しながら見込み量を算出する。

あてはまる番号に○をつけてください。
なお、「その他」を選択された場合は、() 内に具体的にご記入ください。

1. お住まいの地域についてうかがいます

問1 量 お住まいの小学校区はどちらですか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------------|------------|-----------|
| 1. 鷺津小学校区 | 2. 白須賀小学校区 | 3. 東小学校区 |
| 4. 岡崎小学校区 | 5. 知波田小学校区 | 6. 新居小学校区 |
| 7. わからない(地区名をご記入ください:) | | |

2. お子様とご家族の状況についてうかがいます

問2 量 お子様の生年月を数字でご記入ください。

- | | |
|-------|------------------|
| 1. 平成 | _____年_____月 生まれ |
| 2. 令和 | |

問3 量 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(○は1つ)

※あて名のお子様からみた関係でお答えください。

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他() |
|-------|-------|-----------|

問4 量 この調査票に回答いただいている方に配偶者はいますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問5 量 お子様の子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。(○は1つ)

※あて名のお子様からみた関係でお答えください。

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 |
| 4. 主に祖父母 | 5. その他() | |

3. お子様の育ちをめぐる環境についてうかがいます

問6 ★量 日頃、お子様を預けられる親族・知人はいますか。(○はいくつでも)

1. 日常的に祖父母等の親族に預けられる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預けられる
3. 日常的にこどもを預けられる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際にはこどもを預けられる友人・知人がいる
5. いずれもない

問7 量 子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。
(○はいくつでも)

- | | | |
|--------------------------|--------------------------------|------------------|
| 1. 配偶者（事実婚を含む） | 2. 父母・きょうだい等の親族 | 3. 友人や知人 |
| 4. 近所の人 | 5. インターネット（子育て支援サイトやSNS、LINE等） | |
| 6. 子育て支援施設（地域子育て支援センター等） | | 7. 静岡県西部健康福祉センター |
| 8. 保育園・幼稚園・こども園 | 9. 民生委員・児童委員 | 10. かかりつけの医師 |
| 11. 市の子育て関連担当窓口 | 12. その他（ ） | 13. 相談できる人はいない |

問8 子育てのノウハウに関する情報は、どこから入手することが多いですか。(最も入手頻度が高く、信頼している入手先3つに○)

- | | | |
|-------------------|-----------------------|----------------------|
| 1. 自分の親 | 2. 配偶者の親 | 3. 自分のきょうだい |
| 4. 配偶者のきょうだい | 5. 友人や知人 | 6. 専門家のSNSや動画サイト等 |
| 7. 著名人のSNSや動画サイト等 | 8. 一般人のSNSや動画サイト等 | 9. 企業等が運営する子育て情報サイト等 |
| 10. 子育て情報誌 | 11. 所属しているサークル・グループなど | 12. 行政等の相談窓口 |
| 13. その他（ ） | | |

4. 保護者の就労についてうかがいます

母親についてうかがいます

※父子家庭の場合は記載不要です。⇒問13へ

問9 量 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（○は1つ）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

⇒問11へ

⇒問10へ

⇒問12へ

問9で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問10 量 フルタイムへの転換希望はありますか。（○は1つ）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問9で「1」または「3」（就労しており、産休、育休、介護休業中ではない）に○をつけた方にうかがいます。

問11 あなたの生活の中で、「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」について、優先させたいものの希望と現実を教えてください。（○は各項目いくつでも）

※「地域・個人の生活」とは、地域・社会活動、学習、趣味、付き合いなどを指しています。

	仕事	家庭生活	人の生活 地域・個	い わ か ら な
A 優先したいもの（希望）	1	2	3	4
B 優先しているもの（現実）	1	2	3	4

問9で「5.」または「6.」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。

問12量 就労したいという希望はありますか。

（あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけて、該当する選択肢には数字で記入）

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）	
2. 時期は未定だが、状況が整ったら働きたい	
3. 1年より先、一番下のこどもが_____歳になったころに働きたい	
4. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい	
→希望する 就労形態	{ ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） イ. パートタイム、アルバイト等（「ア.」以外） →1週当たり_____日／1日当たり_____時間 }

父親についてうかがいます

※母子家庭の場合は記載不要です。⇒問17へ

問13量 保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。（○は1つ）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	⇒⇒問16へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	⇒問15へ
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒問17へ
6. これまで就労したことがない	

問13で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。

問14量 フルタイムへの転換希望はありますか。（○は1つ）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問13で「1」または「3」（現在就労しており、育休・介護休業中ではない）に○をつけた方に
うかがいます。

問15 あなたの生活の中で、「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」について、優先させ
たいものの希望と現実を教えてください。（○は各項目いくつでも）

※「地域・個人の生活」とは、地域・社会活動、学習、趣味、付き合いなどを指しています。

	仕事	家庭生活	人の生活 地域・個	い わ か ら な
A 優先したいもの（希望）	1	2	3	4
B 優先しているもの（現実）	1	2	3	4

問14で「5」または「6」（就労していない）に○をつけた方にうかがいます。

問16 量 就労したいという希望はありますか。

（あてはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけて、該当する選択肢には数字で記入）

1. 子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）
 2. 時期は未定だが、状況が整ったら働きたい
 3. 1年より先、一番下のこどもが_____歳になったころに働きたい
 4. すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい
- 希望する
就労形態
- | | | |
|---|--|---|
| { | ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア.」以外）
→1週当たり_____日／1日当たり_____時間 | } |
|---|--|---|

5. お子様の平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について うかがいます

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。
具体的には、幼稚園や保育園など、問18に示した事業が含まれます。

問17 量 お子様は現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用され
ていますか。（○は1つ）

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 利用している ⇒問18へ | 2. 利用していない ⇒問19へ |
|-----------------|------------------|

問17で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問18 **量** お子様は、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(○はいくつでも)

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
5. 小規模保育事業（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員おおむね6～19人のもの）
6. 家庭的保育（保育者の家庭等でこどもを保育する事業）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設）
9. その他の認可外の保育施設
10. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者がこどもの家庭で保育する事業）
11. ファミリー・サポート・センター（こどもを預かる等、子育てを助け合う住民会員組織）
12. その他（ ）

問17で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問19 利用していない理由は何ですか。

(○はいくつでも。8は利用を希望するこどもの年齢を数字で記入)

1. 利用する必要がない（こどもの教育や発達のため、こどもの母親か父親が就労していないなどの理由で）
2. こどもの祖父母や親戚の人が預かってくれる
3. 近所の人や父母の友人・知人が預かってくれる
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. こどもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている
9. こどもの病気・障害等により利用しづらい
10. その他（ ）

問 20 国が創設を予定している「こども誰でも通園制度（仮称）」は、2歳までの未就園児を対象とし、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で利用できる通園制度ですが、湖西市内で利用できるようになったら使う機会があると思いますか。

※現在国で調整中の制度であり、湖西市で実施するかどうかは現時点で未定です。

1. 利用可能枠一杯まで利用したい。
2. 月に何回かは利用したい。
3. 利用しないと思う。
4. 制度の詳細が決まらなとわからない。

問20で1または2に○をつけた方にうかがいます。

問21 「こども誰でも通園制度（仮称）」は様々な種類の施設での実施が想定されていますが、どの施設で利用したいですか。（○はいくつでも）

※いずれの施設においても、湖西市で実施するかどうかは現時点で未定です。

- | | | |
|---|--------------------|-----------|
| 1. 幼稚園 | 2. 認可保育園 | 3. 認定こども園 |
| 4. 小規模保育事業（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員おおむね6～19人のもの） | | |
| 5. 家庭的保育事業所（保育者の家庭等でこどもを保育する事業） | | |
| 6. 子育て支援センター | 7. ファミリー・サポート・センター | |
| 8. 湖西市健康福祉センターおぼと | | |

すべての方にうかがいます。

問22 **量** 現在、利用している、利用していないにかかわらず、お子様の平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

（○はいくつでも）

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | |
|---|----------------|
| 1. 幼稚園（通常の就園時間の利用） | |
| 2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ） | |
| 3. 認可保育園（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの） | |
| 4. 認定こども園の保育園部 | 5. 認定こども園の幼稚園部 |
| 6. 小規模保育事業（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員おおむね6～19人のもの） | |
| 7. 家庭的保育（保育者の家庭等でこどもを保育する事業） | |
| 8. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設） | |
| 9. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設） | |
| 10. その他の認可外の保育施設 | |
| 11. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者がこどもの家庭で保育する事業） | |
| 12. ファミリー・サポート・センター（こどもを預かる等、子育てを助け合う住民会員組織） | |
| 13. その他（ ） | |

問22で「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「5. 認定こども園の幼稚園部」に○をつけた方にうかがいます。

問23 **量** 特に幼稚園又は認定こども園の幼稚園部（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は1つ）

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

6. お子様の地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます

問24 **量** お子様は現在、「湖西市子育て支援センター(のびりん)」で実施している「地域子育て支援拠点事業」(遊びの広場「わくわく」や、出張広場「にこにこ」等、親子が集まって過ごしたり、相談や情報提供を受けたりする場)を利用していますか。
(○はいくつでも。また、おおよその利用回数(頻度)を数字で記入)

1. 地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター「のびりん」等)	⇒問26へ
1 週当たり _____ 回 もしくは 1 か月当たり _____ 回程度	
2. その他湖西市で実施している類似の事業 (具体名: _____)	
1 週当たり _____ 回 もしくは 1 か月当たり _____ 回程度	
3. 利用していない ⇒問25へ	

問24で「3. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問25 地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)を、利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

※母親、父親それぞれについてお答えください。(ひとり親世帯は該当する方のみお答えください。)

母親	父親
1. 場所が遠いので利用しづらい	1. 場所が遠いので利用しづらい
2. 開催時間や日数が利用しづらい	2. 開催時間や日数が利用しづらい
3. 知人がいないので行きづらい	3. 知人がいないので行きづらい
4. 知らなかった	4. 知らなかった
5. 利用する時間がない	5. 利用する時間がない
6. 利用の仕方がわからない	6. 利用の仕方がわからない
7. 親同士の付き合いがわずらわしい	7. 親同士の付き合いがわずらわしい
8. 外出するのが面倒	8. 外出するのが面倒
9. こどもが大きくなって必要ない	9. こどもが大きくなって必要ない
10. 特に利用する必要性を感じない	10. 特に利用する必要性を感じない
11. その他(具体的に _____)	11. その他(具体的に _____)
12. 特に理由はない	12. 特に理由はない

問26 **量** 問24のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。
(○は1つ。また、おおよその利用回数(頻度)を数字で記入)

※事業の利用には、一定の利用料が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい
1 週当たり _____ 回 もしくは 1 か月当たり _____ 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
1 週当たり 更に _____ 回 もしくは 1 か月当たり 更に _____ 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問27 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

(①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれか1つに○)

※事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

事業名	A 知っている	B これまでに 利用した ことがある	C 今後利用 したい
① 子育て支援センター「のびりん」 ・子育てに係る交流、相談、情報の提供など、総合的に支援します。また、遊具や玩具があり、親子で安心して遊ぶことができます。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
② 出張ひろばにここ（市内3か所） ・湖西市内の公共施設へ、子育て支援センターから保育士が出張して開催する広場です。親子がともに遊び、交流し、いきいきとしたふれあいの時間を過ごす場所を提供しています。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
③ 遊びの広場（健康福祉センター「おぼと」） ・玩具があり、親子で安心して遊ぶことができます。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
④ ファミリー・サポート・センター ・こどもを預かったり、預けたりして住民が助けあう会員組織です。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑤ のびのび預かり保育 ・満1歳から就学前の幼児を保育士が一時的に預かります。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑥ 保育園・こども園一時預かり ・お子様を一時的に預けることができます。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑦ ふたば学級 ・2歳児の保護者が子育てについて学ぶ場です。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑧ 保育園・こども園の子育て相談 ・通園している園児に限らず、子育ての悩みの相談に保育士が応じるサービスです。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑨ 産前・産後ヘルパー事業 ・妊娠から出産1年後以内の妊産婦さんが利用したホームヘルプサービスの費用を助成します（R5.4～）。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
⑩ マタニティタクシー助成金制度 ・妊婦さんが安心して妊婦健診の受診や出産ができるよう、タクシー料金の一部を助成します。	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ

7. お子様の土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます

問28 **量** お子様の土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育サービスの利用希望はありますか。（一時的な利用は除きます）（○は1つずつ。希望がある場合は、利用したい時間帯を数字で記入）

※時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制でご記入ください。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指し、親族・知人による預かりは含みません。

（1）土曜日

1. 利用する必要はない	} →	利用したい時間帯 _____時～_____時
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		

（2）日曜・祝日

1. 利用する必要はない	} →	利用したい時間帯 _____時～_____時
2. ほぼ毎週利用したい		
3. 月に1～2回は利用したい		

問28（1）または（2）で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問29 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 月に数回仕事が入るため	
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. リフレッシュのため
5. その他（	）

問18（平日利用する定期的な教育・保育）で「1. 幼稚園」に○をつけた方にうかがいます。

問30 **量** お子様の夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育サービスの利用を希望しますか。（○は1つ。希望がある場合は、利用したい時間帯を数字で記入）

※時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制でご記入ください。

1. 利用する必要はない	} →	利用したい時間帯 _____時～_____時
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい		
3. 休みの期間中、週に数日利用したい		

問30で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問31 毎日ではなく、時々利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 週に数回仕事が入るため	
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため	
3. 親族の介護や手伝いが必要なため	4. リフレッシュのため
5. その他（	）

**8. お子様の病気の際の対応についてうかがいます
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問17で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいます。 ⇒利用していない方は、問37へ

問32量 この1年間に、お子様が急な病気やケガにより普段利用している幼稚園・保育園等を休まざるを得なかったことはありますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|---------|
| 1. あった ⇒問33へ | 2. なかった |
|-----------------|---------|

問32で「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問33 ■ お子様が病気やケガで普段利用している幼稚園・保育園等を休まざるを得なかった場合に、この１年間に行った対処方法はどのようなことですか。半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。（○はいくつでも。日数を数字で記入）

⇒ [問34へ](#)

問33で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

問34 量 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。（あてはまる番号1つに○つけて、該当する選択肢には日数についても数字で記入）

※病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい 年間日数_____日
2. 利用したいとは思わない

問35 お子様が病気やけがで普段利用している幼稚園・保育園等に通園できない場合、あなたが最も望む対処方法はどの方法ですか。

※病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. 父親が仕事を休む
2. 母親が仕事を休む
3. (同居者を含む) 親族・知人にこどもをみてもらう
4. ベビーシッターを利用する
5. 病児・病後児保育施設を利用する
6. ファミリー・サポート・センターを利用する
7. その他 (

問35で「1. 父親が仕事を休む」または「2. 母親が仕事を休む」に○をつけた方にうかがいます。

問36 あなたが選択した方(父親又は母親)が急に仕事を休む難易度はどのくらいですか。

1. 比較的自由に休める
2. 自分の仕事のみ調整すれば休める
3. 他の従業員等との調整がつけば休める
4. 職場全体の状況が整わないと休めない
5. 基本的に急には休めない

9. お子様の不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用についてうかがいます

問37 量 お子様について、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不
定期の就労等の目的で不定期に利用している預かり事業はありますか。
(○はいくつでも。1年間の利用日数についても数字で記入)

利用している事業	年間日数
1. 一時預かり(私用など理由を問わずに保育園などで一時的にこどもを保育する事業)	_____日
2. 幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ)	_____日
3. ファミリー・サポート・センター	_____日
4. のびのび預かり保育(満1歳から就学前の幼児を、市内2カ所の公共施設で保育士が一時的に預かります)	_____回
5. ベビーシッター	_____日
6. その他()	_____日
7. 利用していない ⇒問38へ	_____日

⇒問39へ

問37で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問38 現在利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよい	
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない	
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない	
9. こどもの病気・障害等により利用しづらい	
10. 利用を希望したが断られた経験があるから（断られた際の理由：_____）	
11. その他（_____）	

問39 ■ お子様について、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい不特定の預かり事業を利用したいと思いますか。

（あてはまる番号・記号すべてに○をつけて、日数についても数字で記入）

※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数をご記入ください。

※事業の利用には、一定の利用料が発生します。

利用希望	希望日数
1. 利用したい 計	_____日
ア. 私用（買い物、リフレッシュ目的）や こども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等	_____日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、こども（兄弟姉妹を含む）や 親の通院等	_____日
ウ. 不特定の就労	_____日
エ. その他（_____）	_____日
2. 利用する必要はない	

問40 ■ この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子様を泊りがけで家族以外に預かってもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）

（あてはまる番号・記号すべてに○をつけて、日数についても数字で記入）

有無 (○は1つ)	1年間の対処方法（○はいくつでも）	日数
1. あった	ア. 親族・知人（同居者を含む）に預かってもらった イ. 認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した ウ. 仕方なくこどもを同行させた エ. 仕方なくこどもだけで留守番をさせた オ. その他（_____）	_____日 _____日 _____日 _____日 _____日
2. なかった		

10. お子様の小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます

問41  お子様が小学校低学年（1～3年生）になったとき、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも。週の利用日数及び「放課後児童クラブ」の場合は利用を希望する時間を数字で記入）

※時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制でご記入ください。

過ごさせたい場所	日数
1. 自宅	週_____日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週_____日くらい
3. 習い事（音楽教室、スポーツクラブ、学習塾等）	週_____日くらい
4. 放課後児童クラブ（学童保育）※ ¹	週_____日くらい ⇒下校時から_____時まで
5. 放課後子ども教室※ ²	週_____日くらい
6. 放課後等デイサービス※ ³	週_____日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週_____日くらい
8. 図書館、地域センターなどの社会教育施設	週_____日くらい
9. 児童館※ ⁵ ど、こどもがひとりで予約なく自由に入出入り可能な「居場所」施設	週_____日くらい
10. その他（公園等）	週_____日くらい

※1 放課後児童クラブ…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、こどもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

※2 放課後子ども教室…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※3 放課後等デイサービス…障害のある児童を対象に、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他必要な支援を行う事業です。

※4 児童館…地域において児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操をゆたかにすることを目的とする児童福祉施設。（湖西市内設置なし）

問42■ お子様が小学校高学年（４～６年生）になったとき、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも。週の利用日数及び「放課後児童クラブ」の場合は利用を希望する時間を数字で記入）

※時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制でご記入ください。

※少し先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

過ごさせたい場所	日数
1. 自宅	週_____日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週_____日くらい
3. 習い事（音楽教室、スポーツクラブ、学習塾等）	週_____日くらい
4. 放課後児童クラブ（学童保育）	週_____日くらい ⇒下校時から_____時まで
5. 放課後子ども教室	週_____日くらい
6. 放課後等デイサービス	週_____日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週_____日くらい
8. 図書館、地域センターなどの社会教育施設	週_____日くらい
9. 児童館など、こどもがひとりで予約なく自由に出入り可能な「居場所」施設	週_____日くらい
10. その他（公園等）	週_____日くらい

問41または問42で「4. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

問43 お子様について、土曜日や日曜日・祝日、長期休暇期間中に、放課後児童クラブを利用したいと思いますか。

（○は1つずつ。希望がある場合は、利用したい時間帯を数字で記入）

※時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制でご記入ください。

※事業の利用には、一定の利用料が発生します。

（1）土曜日

1. 低学年（１～３年生）の間は利用したい 2. 高学年（４～６年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	} → 利用したい時間帯 _____時～_____時
--	-------------------------------

（2）日曜・祝日

1. 低学年（１～３年生）の間は利用したい 2. 高学年（４～６年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	} → 利用したい時間帯 _____時～_____時
--	-------------------------------

（3）長期休暇期間中（夏休み・冬休みなど）

1. 低学年（１～３年生）の間は利用したい 2. 高学年（４～６年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	} → 利用したい時間帯 _____時～_____時
--	-------------------------------

11. すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など 職場の両立支援制度についてうかがいます

※ここからは母親、父親についての設問がある場合、それぞれについてお答えください。
(ひとり親世帯は該当する方のみお答えください。)

問44 現在、国には下記のような職場での両立支援のための制度がありますが、ご存じでしたか。(○は1つ)

- ※1 育児休業給付…こどもが原則1歳(保育園における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳)になるまで育児休業給付が支給される仕組み
- ※2 保険料免除…こどもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み

- | |
|----------------------------|
| 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた |
| 2. 育児休業給付のみ知っていた |
| 3. 保険料免除のみ知っていた |
| 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |

問45 お子様が生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(○は1つずつ)

母親		父親	
1. 働いていなかった	⇒問54へ	1. 働いていなかった	⇒問54へ
2. 取得していない	⇒問46へ	2. 取得していない	⇒問46へ
3. 取得した(取得中を含む)	⇒問47へ	3. 取得した(取得中を含む)	⇒問47へ

問45で「2. 取得していない」に○をつけた方にうかがいます。

問46 育児休業を取得していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

母親	父親
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった	2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった	
4. 仕事に戻るのが難しそうだった	3. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった	4. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	5. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育園などに預けることができた	6. 保育園などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	7. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	8. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した	9. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	10. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	11. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	12. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	
15. 育児休業を希望したが許可されなかった	13. 育児休業を希望したが許可されなかった
16. その他()	14. その他()

⇒問54へ

問45で「3. 取得した(取得中である)」に○をつけた方にうかがいます。

問47 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(○は1つずつ)

母親	父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒問48へ	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒問48へ
2. 現在も育児休業中である ⇒問53へ	2. 現在も育児休業中である ⇒問53へ
3. 育児休業中に離職した ⇒問54へ	3. 育児休業中に離職した ⇒問54へ

問47で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

問48 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園等への入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(○は1つずつ)

※年度初めでの認可保育園入園を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育園に入園した場合なども「1.」にあてはまります。また、年度初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1.」を選択してください。

母親	父親
1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった	1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった	2. それ以外だった

問49 育児休業からは、「実際」にお子様が何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。(それぞれ数字で記入)

①実際の取得期間

母親	父親
_____歳_____か月	_____歳_____か月

②希望の取得期間

母親	父親
_____歳_____か月	_____歳_____か月

問49で実際の復帰と希望が異なる方（母親）にうかがいます。

問50 希望の時期に職場復帰しなかったのは、どのような理由からですか。

(○はいくつでも)

(1)「希望」より早く復帰した方

母親	父親
1. 希望する保育園に入るため	1. 希望する保育園に入るため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他()	5. その他()

(2)「希望」より遅く復帰した方

母親	父親
1. 希望する保育園に入れなかったため	1. 希望する保育園に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもを預かってくれる人がいなかったため	5. 子どもを預かってくれる人がいなかったため
6. その他()	6. その他()

問51 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(○は1つずつ)

母親	父親
1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)
2. 利用した	2. 利用した
3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった) ⇒問52へ	3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった) ⇒問52へ

問51で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」に○をつけた方にうかがいます。

問52 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。
(○はいくつでも)

母親	父親
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった	2. 仕事が忙しかった
3. 短時間勤務にすると給与が減額される	3. 短時間勤務にすると給与が減額される
4. 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる	4. 短時間勤務にすると保育園の入園申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、こどもをみってくれる人がいた	6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、こどもをみってくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した	7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他()	10. その他()

⇒問54へ

問47で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

問53 お子様の育児休業期間が満了したときに、お子様を預けられる事業(保育園への入園等)があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(○は1つずつ)

母親	父親
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい	2. 1歳になる前に復帰したい

問54 **貧困** 前年の、あなたの世帯の全員の収入を合わせた「年間の世帯収入（年間のボーナス含む手取り額）」を教えてください。（○は1つ）

※単身赴任や進学などで一時的に別居している方の収入も合わせた額でお答えください。

世帯全員のすべての
収入の合計

－

税
(所得税・住民税など)

=

世帯収入
(手取り額)

※収入とは、勤労収入（パート・アルバイトを含む）、事業所得（自営業等）、農業所得、不動産所得、利子・配当金、公的年金、その他の社会保障給付金（生活保護、児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当）、個人年金、出稼ぎなどによる別居親族からの仕送りなど、すべてを含めた金額です。

※世帯が生活するための収入として、お父さんやお母さんの勤労収入、おじいさん・おばあさんの年金など、複数の収入源がある世帯は、すべての方の収入のおおよその合計額を教えてください。

※手取り額とは、所得税・住民税などの税額、健康保険料や年金保険料・介護保険料を支払った後の金額になります。

※社内貯金や住宅ローンなど、給与から天引きされる貯蓄・借金等がある場合には、天引き前の金額になります。

世帯収入（合算値）※世帯全体の年間、ボーナス含む手取り額

- | | | | |
|-----------------|-----------------|------------------|-----------------|
| 1. 収入はない | 2. 50万円未満 | 3. 50～100万円未満 | 4. 100～150万円未満 |
| 5. 150～200万円未満 | 6. 200～250万円未満 | 7. 250～300万円未満 | 8. 300～350万円未満 |
| 9. 350～400万円未満 | 10. 400～500万円未満 | 11. 500～600万円未満 | 12. 600～700万円未満 |
| 13. 700～800万円未満 | 14. 800～900万円未満 | 15. 900～1000万円未満 | 16. 1000万円以上 |
| 17. わからない | | | |

12. すべての方に、「こどもの貧困」についてうかがいます

＜こどもの貧困＞

主に経済的な困窮により、教育の機会が十分に得られなかったり、健全に育つための環境が整わなかったりする状態のことを指します。また、「貧困」には経済的な側面だけでなく、教育や情報へのアクセス、保健医療、住環境、文化活動やレクリエーションなどにおける機会の格差も含まれると考えるべきです。

問55 あなたは湖西市で「こどもの貧困」に関する問題が生じていると感じますか。
(○は1つ)

1. 多く生じていると感じる
2. わずかではあるが生じていると感じる
3. 生じていないと感じる

問55で「1. 多く生じていると感じる」または「2. わずかではあるが生じていると感じる」に○をつけた方にうかがいます。

問56 湖西市で生じている「こどもの貧困」問題に対して、どのような支援が必要だと思いますか。(3つまで○)

1. 衣食住などの生活・福祉の支援
2. 学校や学習習慣など教育の支援
3. 家庭での過ごし方や親子関係などの子育ての支援
4. 友人関係の構築やコミュニケーションへの支援
5. 家計や所得などに関する経済の支援
6. 居場所や見守りなどの地域の支援
7. その他 ()
8. わからない

13. すべての方に、子育てに関する市の施策等についてうかがいます

問57 湖西市における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。
(○は1つ)

満足度が低い ←————→ 満足度が高い
1 2 3 4 5

【理由】 []

問58 子育てについて、日ごろ悩んでいることや不安に思っていることはどのようなことですか。（○はいくつでも）※あて名のお子様についてお答えください。

※母親、父親それぞれについてお答えください。（ひとり親世帯は該当する方のみお答えください。）

母親	父親
1. こどもの病気や体の成長に関すること	1. こどもの病気や体の成長に関すること
2. こどもの発達に関すること	2. こどもの発達に関すること
3. こどもとの接し方に自信が持てない	3. こどもとの接し方に自信が持てない
4. こどもとの時間を十分にとれない	4. こどもとの時間を十分にとれない
5. 子育てにかかる費用が大きな負担になっている	5. 子育てにかかる費用が大きな負担になっている
6. こどもの教育に関すること	6. こどもの教育に関すること
7. 友達付き合い（いじめ、友だちの人数など）に関すること	7. 友達付き合い（いじめ、友だちの人数など）に関すること
8. 保護者同士の関係に関すること	8. 保護者同士の関係に関すること
9. 教育・保育事業利用の際のこどもの行動に関すること	9. 教育・保育事業利用の際のこどもの行動に関すること
10. 住宅の間取り等が悪く、家事や育児がしにくい	10. 住宅の間取り等が悪く、家事や育児がしにくい
11. 子育てに追われて掃除・片付けなどの家事が追い付かない	11. 子育てに追われて掃除・片付けなどの家事が追い付かない
12. こどもの一時的な預け先が見つからない	12. こどもの一時的な預け先が見つからない
13. ひとりや夫婦だけになって、リフレッシュできる時間が持てない	13. ひとりや夫婦だけになって、リフレッシュできる時間が持てない
14. こどもを連れて遊べる（出かけられる）適当な場所がない・わからない	14. こどもを連れて遊べる（出かけられる）適当な場所がない・わからない
15. 子育ての悩みを共有できる相談相手がいない	15. 子育ての悩みを共有できる相談相手がいない
16. 夜泣きなどで生活リズムが保てない	16. 夜泣きなどで生活リズムが保てない
17. 配偶者との家事・子育ての負担割合が適切でない	17. 配偶者との家事・子育ての負担割合が適切でない
18. その他（ ）	18. その他（ ）
19. 特になし	19. 特になし

問59 日頃の悩みや困りごと等をふまえて、特に行政にしてほしい子育て支援がありましたらお聞かせください。((1)～(5)についてそれぞれ○はいくつでも)

※今後の希望または経験をふまえてお答えください。

(1) 子育て家庭の就労環境について

- | |
|-----------------------|
| 1. 事業所における子育ての理解促進の啓発 |
| 2. 出産後の就労支援の充実 |
| 3. 育児休業の取得援助 |

(2) 子育ての経済的負担について

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 保育料・教育費の軽減 | 2. 多子世帯への支援制度の充実 |
| 3. 妊娠・出産にかかる経済的援助 | 4. こどもの医療費助成の拡充 |
| 5. 多胎児家庭支援の充実 | 6. ひとり親家庭支援の充実 |
| 7. 認可外施設への助成・利用料補助の充実 | 8. 高等教育への修学支援の充実 |

(3) 幼稚園・保育園・こども園・その他認可外施設に関することについて

- | | |
|-------------------------------------|----------------------|
| 1. 保育園・こども園の一時預かり事業の充実 | |
| 2. 幼稚園の預かり保育の充実 | |
| 3. 保育園・こども園などの保育施設の入園枠の拡大（新設、定員の増加） | |
| 4. 幼稚園の入園枠の拡大（新設、定員の増加） | |
| 5. 幼保一体化 | |
| 6. 保育園・こども園などの保育施設の入園資格の緩和 | |
| 7. 保育の質の向上（職員の増員、資質向上） | 8. 病児・病後児保育サービスの充実 |
| 9. 障害児保育・教育の充実 | 10. 幼稚園・保育園等の情報案内の充実 |
| 11. 教育・保育内容の充実 | 12. 給食の充実 |
| 13. 保育園などの休日保育の充実 | 14. 夜間保育の充実 |

(4) その他の子育て支援サービスについて

- | | |
|--------------------------|------------------------------|
| 1. 子育て支援情報の充実 | 2. 子育て家庭の交流機会の充実 |
| 3. 子育て支援団体等への支援拡充 | 4. ベビーシッターや産前産後家事代行事業の充実 |
| 5. 相談事業の充実 | 6. 健診・予防接種等保健サービスの充実 |
| 7. 働いていない保護者のいる家庭への支援の充実 | 8. 発達障害またはその可能性のあるこどもへの支援の充実 |
| 9. 保健師や助産師等による訪問指導支援の拡充 | 10. 児童の虐待対応・相談の拡充 |

(5) 子育て環境について

- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| 1. 子育て支援施設の拡充 | 2. 児童公園等こどもの遊び場の充実 |
| 3. 居住・住宅環境（道路環境を含める）の改善 | 4. 子育てに対する地域社会の理解の向上 |
| 5. 公共交通機関の充実 | 6. 市内で出産できる産科等の誘致 |
| 7. 小児科等医療機関の充実（医療機関数、夜間診療体制など） | |

問60 市では子育てに関する相談窓口を開設しており、健康福祉センター「おぼと」などで様々な子育て相談をすることができます。

あなたが相談しやすいと思う方法について、3つ以内で選択してください。

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. 市施設の窓口での対面 | 2. ご自宅への訪問 |
| 3. 画像ありのオンライン | 4. 電話 |
| 5. LINE等の文字トーク（チャット） | 6. メール |

最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。

ご協力、ありがとうございました。

**切手を貼らずに同封の封筒に入れ、○月○日（○）までに
ポストへご投函ください。**